



ガスクリーンヒーティング

取扱説明書

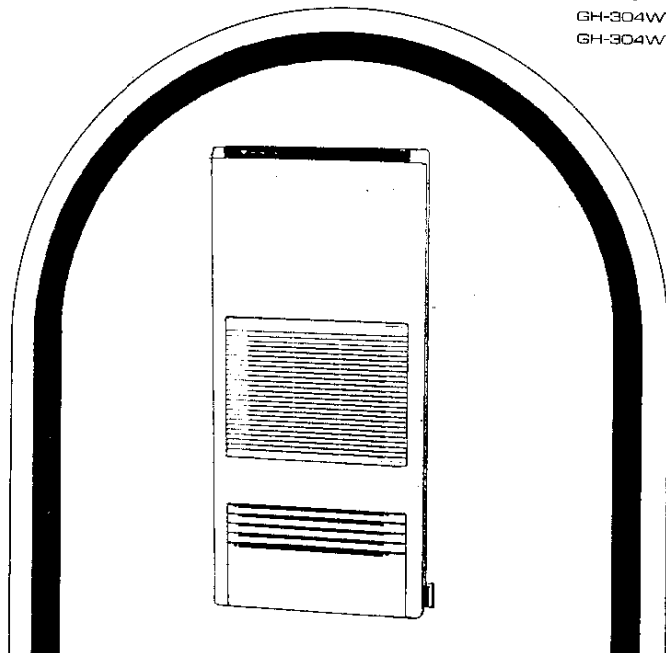
43-756型

保証書付

形式の呼び

GH-304WT_L

GH-304WT_{TL}



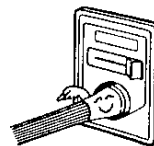
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎641	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652)0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	☎662	西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	☎578	東大阪市鶴葉2丁目3番17号	☎河内0729(62)1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町18番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576)5231
京支社	☎604	京都市中京区烏丸九御池御殿町358	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	☎675	加古川市加古川御栗津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3)2221
湖南支社	☎525	草津市湯分町字荒尾600の1	☎草津0775(82)5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南長原町3番4号	☎長浜07496(22)7171

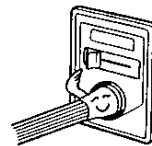
その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管もときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

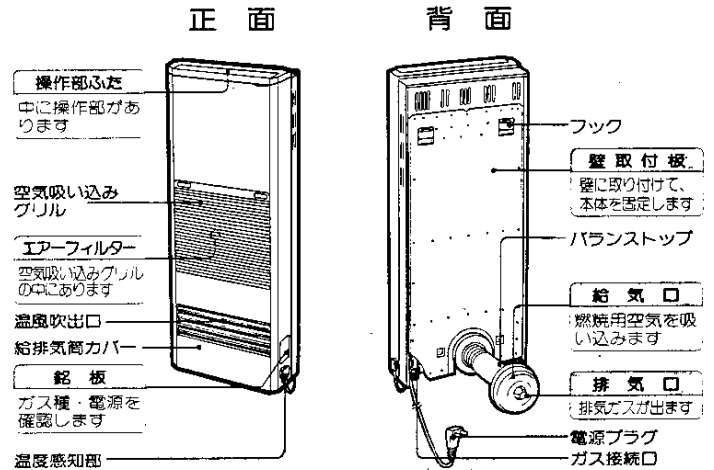
このたびは、大阪ガスのガスクリーンヒーティングをお求めいただきありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

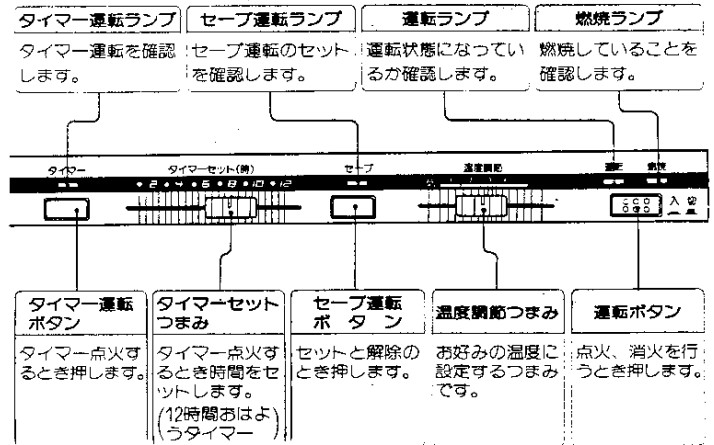
もくじ

- 各部の名称とはたらき..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2~7
- 設置状態の確認..... 8
- 使用手順..... 9~13
- 使用時のご注意..... 14~15
- 日常の点検・お手入れ..... 16~18
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 19~20
- 長期間使用しない場合..... 21
- アフターサービスのお申し込み..... 22
- 特長..... 23
- 寸法図と仕様一覧表..... 24

各部の名称とはたらき



操作部



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはついている銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

（銘板）

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量
製造年月日および製造番号
製造業者名

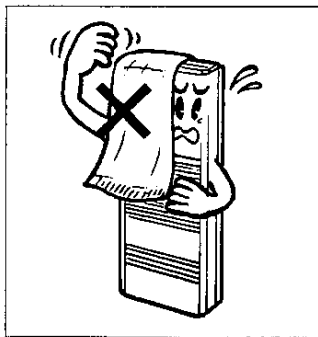
●都市ガス用6C

●都市ガス用13A

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区別があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- 転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

用途についてのご注意

- 暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
衣類などを器具の上に置いたりすると、温風吹出口や空気吸い込みブリスがふさがれてしまい、器具内に熱がこもって異常過熱し、器具に悪影響を与えることがあります。

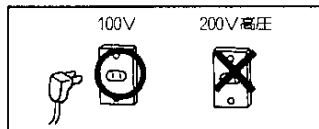


特に注意していただきたいこと②

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。

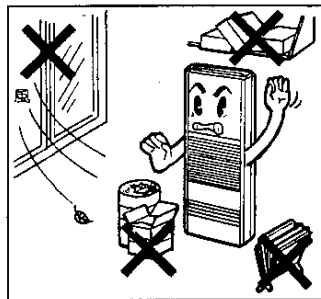
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。



- 電源周波数が異なる地域へ転居される場合は、改造の必要があります。この場合、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

使用場所についてのご注意

- 家具・壁・カーテンなど、燃えやすいものや、引火性のものから、じゅう分離してください。



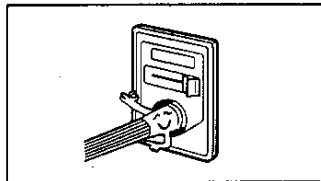
- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。

- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などでのご使用はお避けください。器具の故障の原因となります。

使用上のご注意

ガス漏れ予防

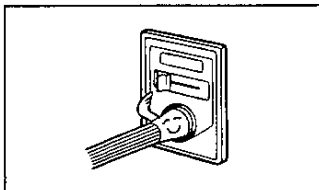
- ガス配管は確実に接続されていますか。接続部が外れたり、ゆるんだりしていませんか。
- ガス配管を折り曲げたり、無理な力を加えないでください。



特に注意していただきたいこと③

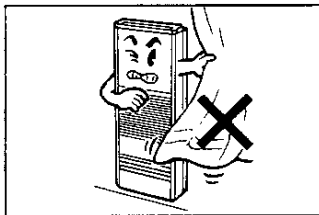
使用上のご注意②

- 使用後は必ず運転ボタンを「切」にし消火したことを確かめてください。
- タイマー運転されない場合で消火されたときや、長期不在、シーズンオフ等の場合は、必ずガス元せんを閉じてください。



火災予防

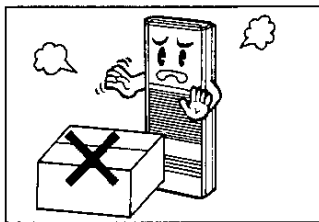
- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や空気吸い込みグリルに入れないでください。火災のおそれがあります。



- ヘアスプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。炎は見ていませんが、引火するおそれがあります。
- 外出、就寝時には必ず消火してください。ただし、タイマー運転の場合は、このかぎりではありません。

過熱防止

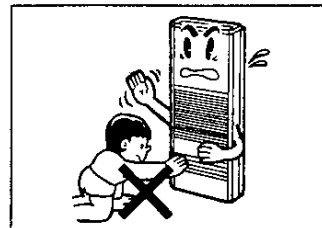
- 温風吹出口の前に物を置いたり、空気吸い込みグリルをふさいだりしないでください。異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。



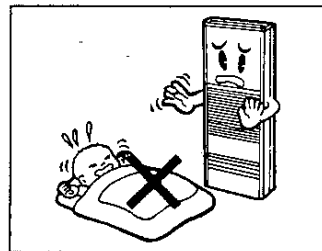
特に注意していただきたいこと④

やけどのご注意

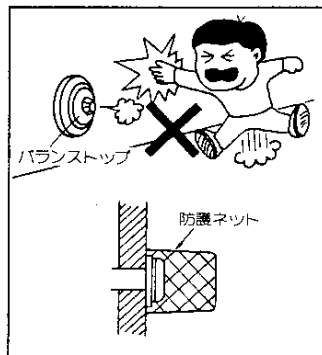
- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺は熱くなりやけどのおそれがありますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。また、小さなお子様が勝手に点火操作をしないようご注意ください。



- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。



- 暖房中バランスストップは高温になりますので手を触れたり、近づいたりしないでください。お子様の手の届く所にバランスストップが設置される場合は防護ネット（別売品(448-315)をご利用ください。

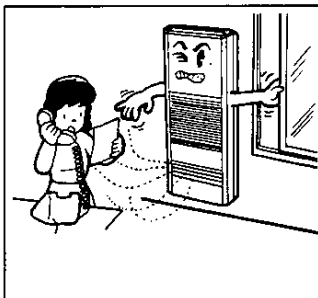


- 使用中の風向調節は行なわないでください。やけどのおそれがあります。（詳しくは13ページ「風向調節」をお読みください）

特に注意していただきたいこと㊦

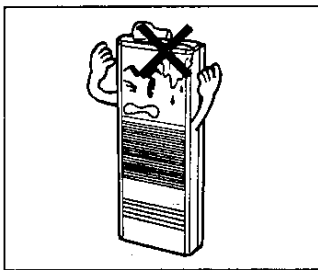
ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんとを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。



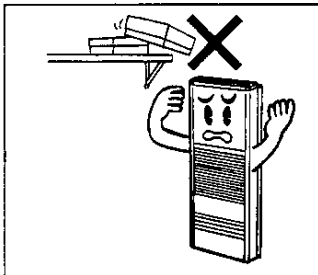
水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



異物落下のご注意

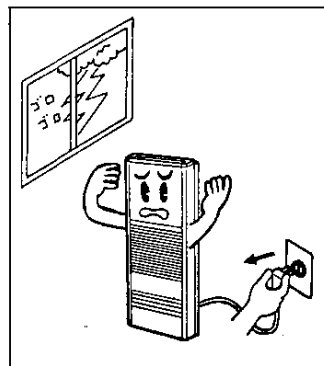
- 棚の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



特に注意していただきたいこと㊦

雷雨時のご注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときはすみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

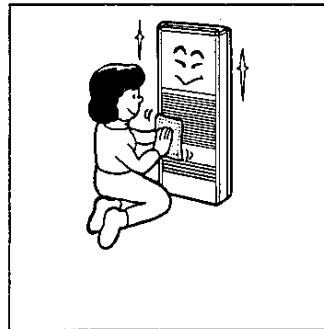


異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにせず、直ちにご使用をやめ（運転ボタン、ガス元せんとを止め）十分な点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については19、20ページをお読みください。）

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。（詳しくは16～18ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

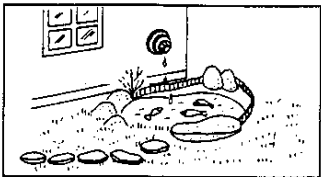
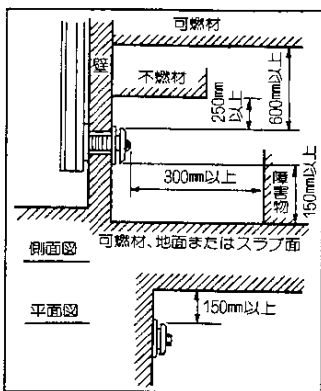
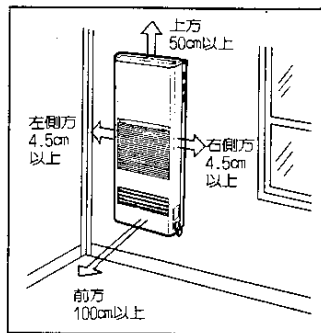


設置状態の確認

器具が正しく設置されているかどうか確認してください。

施工取付後の設置状態の確認

- 定期点検および修理作業できる間隔として、右図の空間をあけているかどうか確認してください。
- 土壁など強度の弱い壁や、紙貼りなど耐熱性のない壁に設置されていませんか。
- 強度の弱い壁には設置しないでください。
- 耐熱性のない壁には設置しないでください。長時間のうちに壁が変色、もしくは変質することがあります。
- バルnstoppの屋外部分の周囲は、排気ガスがよどまない開放空間で、右図の寸法だけあけていますか。
- 雪の多い地方では積雪で、樹木の近くでは樹木の成長などによりバルnstoppがおおわれないよう注意してください。
- バルnstopp先端が、池などの汚染、および腐食の恐れのある所の上に据え付けられていませんか。



使用手順

はじめてお使いのとき

- はじめてお使いのときや、しばらく使用されなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、すぐに着火しない場合があります。この場合は、点火操作後25秒程しても燃焼ランプ（赤色）が点灯せず、点滅します。
- 着火しなかった場合は再度点火操作を行なってください。
- 初めて使用される場合やシーズン初めには、煙やにおいが出る場合がありますが、これは耐熱塗料やほこりが焼けているためで別に異常ではありません。2～3日でなくなりますのでお部屋の換気をしながらご使用ください。
- 点火時や、ルームサーモ作動時、及び消火時に器具から金属音が出る場合がありますが、これは熱交換器の膨張、収縮する際のひずみ音で異常ではありません。

点火前の準備と確認

- 電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

<ご注意>

交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。

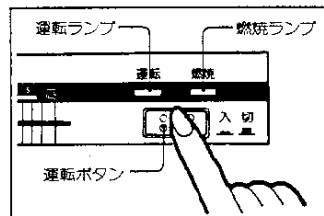
- 運転ボタンの「切」を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

<ご注意>

ガス元せんが全開になっていないと着火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

使用手順②

点 火

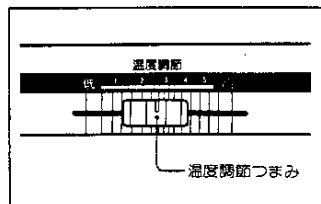


- 点 火
- ①運転ボタンを押して「入■」にし、運転ランプの点灯を確認します。
- ②約20秒後に自動点火します。
- 点火すると燃焼ランプが点灯します。
- 温風は約30秒後に自動的に吹き出します。

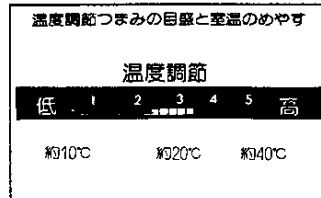
〈ご注意〉

- 燃焼ランプが点滅しているときは、点火していません。運転ボタンを押して「切■」にし、燃焼ランプが消えてから再度運転ボタンを押して「入■」にしてください。
- 温度調節つまみが、室温より低い目盛にセットされていると点火しません。
- タイマーがセットされている(タイマーランプが点灯している)と点火しません。

温度調節



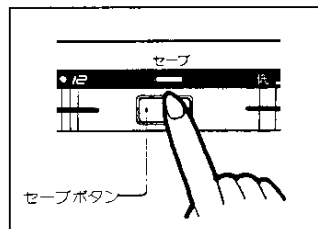
- 温度調節つまみでお好みの温度に調節してください。温度調節器のはたらきで燃焼をON・OFFして室温をほぼ一定に保ちます。



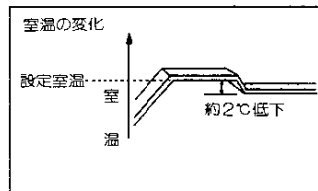
- 温度調節つまみのセット温度は、温度調節器の温度感知部の温度です。部屋の温度とは必ずしも一致しません。めやすとしてお使いください。

使用手順③

セーブ運転

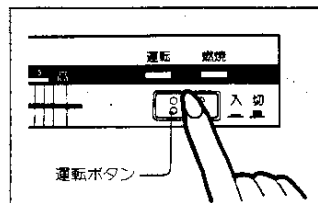


- セーブボタンを1回押すごとにセットと解除をくり返します。セット時はセーブランプ(緑色)が点灯します。



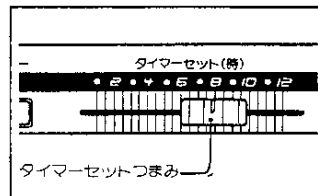
- セット後は、いったんお部屋があたまり、自動的に設定した温度を約2℃下げて運転します。

タイマー運転



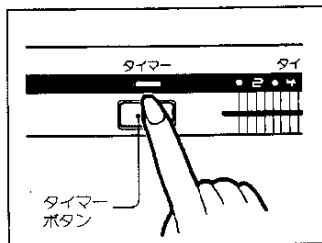
タイマー運転は次の手順で行ってください。

- 運転ボタンを押して「入■」にします。運転ランプが点灯します。(燃焼中にタイマーをセットするとき)は、この操作は不要です。



- タイマーセットつまみを希望の時間にセットします。「8」にセットすると8時間後に点火します。
- 1～12時間の間で30分単位にセットできます。

使用手順④



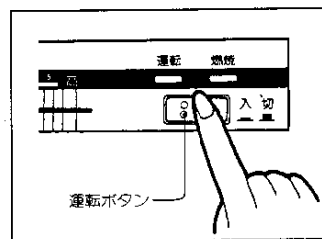
- タイマーボタンを押します。
タイマーランプが点灯します。

- セットした時間になると、タイマーランプが消え、点火します。

●タイマー運転の解除のしかた

- ①すぐに運転したいとき……タイマーボタンをもう一度押してください。
タイマーランプが消え、点火します。
- ②点火をやめるとき……運転ボタンを押して「切」にしてください。

消 火



- 運転ボタンを押して「切」にします。
運転ランプ、燃焼ランプが消えます。
- 「切」にしても温風ファンは1～2分間運転を続け、器具内部が十分冷えると自動的に停止します。
- ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

〈ご注意〉

消火後、温風ファンが止まるまで電源は抜かないでください。
器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。
使用中、電源プラグを抜いて消火することはしないでください。

使用手順⑥

停電時の処置

●停電時の処置

停電になったときは、運転ボタンを「切」にもどし、ガス元せんを止めておいてください。

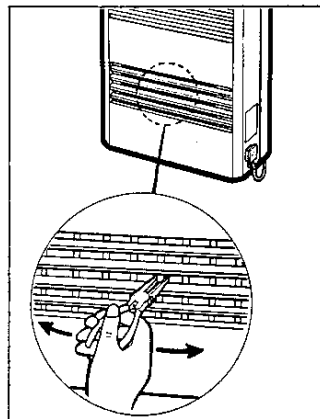
●停電後の再点火

ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

〈ご注意〉

- 運転ボタンが「入」のまま停電が復帰しても運転はしません。
(このときは全てのランプが点滅します)
- 使用中停電になったときは、温風ファンが止まるため器体が過熱します。
特に器体前面が熱くなりますので、器体前面にふれないでください。
(すぐに再通電したときは、温風ファンだけ回り過熱をふせぎます)

風 向 調 節



- 風向きは左右のみ変えることができます。
図のようにラジオペンチ等で調節してください。
5～6程度調節ができます。(それ以上行なうと折れる場合があります)

〈ご注意〉

温風が吹き出している時の風向調節はやけどのおそれがありますので行なわないでください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

●ハイリミットスイッチ（過熱防止装置）の作動

エアフィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火してしまいます。エアフィルターを掃除し、障害物を取り除いた後、しばらく（5～6分）してから再点火してください。（電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。）

作動すると運転ランプが点滅します。

●電流ヒューズの作動

ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。点火操作をしても運転ランプがつかなくなります。修理点検が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

作動すると全てのランプが消えます。

●過熱防止用温度ヒューズの作動

万一異常過熱したときに、温度ヒューズが作動して消火します。（二重の安全装置）

この場合は、器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

作動すると運転ランプが点滅します。

●停電時安全装置の作動

停電時は使用できません。安全装置が作動し、生ガスの放出を止めます。停電中は必ず運転ボタンを「切」にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。

13ページの「停電時の処置」をお読みください。

作動すると全てのランプが消えます。
通電すると全てのランプが点滅します。

使用時のご注意②

安全装置が作動したときの処置方法②

●消火センサー（安全装置）の作動

使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。

ガス元せんが開きたりなかったときなどにおこります。

点検後、再点火してください。

消火した場合は燃焼ランプが点滅します。

●ファンコントローラ（送風制御装置）

電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、消火後に器具の過熱を防止します。

温風ファンは、消火後数分間は止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。

消火後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。また、器体前面が特に熱くなりますので、手を触れますとやけどの危険があります。

〈ご注意〉

安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

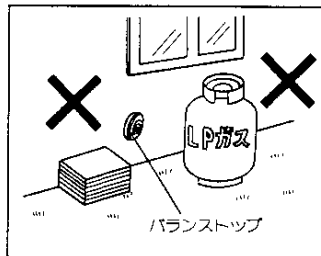
日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。
また電源プラグを抜いてから行なってください。

点 検

- 強化ゴム管は規定の強化ゴム管で新しいものをできるだけ短くして用い器具に
触れさせたりしないでください。
- 強化ゴム管は、器具のガス取入口へ確実に接続してください。またガス元せん
の部分も同様に確実に接続し、ときどき石けん水などで漏れていないか点検し
てください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点
検してください。
- バランスストップの先端の近くに障害物
はありませんか。可燃物、危険物など
がある場合は、遠ざけてからご使用く
ださい。
また、バランスストップの先端がつまり
ますと不完全燃焼を起こして器具の寿
命が短くなります。ときどき点検して
ください。



- 排気スライド管、バランスストップは長期間ご使用になりますと、周囲の条件に
よって腐食することもありますのでサビが発生してぼろぼろになっていないか
点検してください。また、給気フレキホースがやぶれていないかときどき点検
してください。
やぶれたり腐食したりしていますと危険ですので新しいものとの交換を、お買
い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご依頼ください。

日常の点検・お手入れ②

お手入れ

●エアフィルターのお手入れ

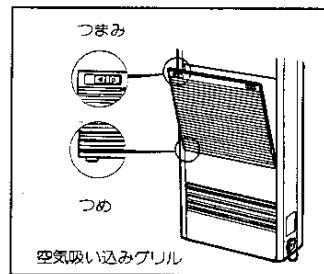
エアフィルターは1週間に1回以上、必ず掃除してください。
エアフィルターにゴミやホコリがたまると、温風量が減って暖房効果が悪く
なるばかりでなく、異常過熱や安全装置作動の原因になります。

●エアフィルターお手入れの順序

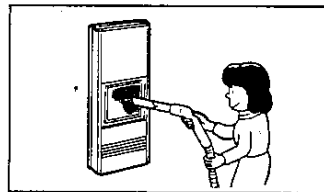
- ①器具前面の空気吸い込みグリルを取
り外します。

上部2カ所のつまみを内側へ動かし、
右図のように少し手前へ倒すように
して上方向へ引き出すと外れます。

- 取付けは、下部のツメ(2個)を本体
にはめ込み、つまみを外側へ動かし
てしっかりと固定します。



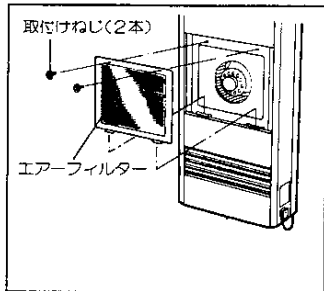
- ②エアフィルターを掃除機などで掃
除してください。



③取り外して掃除する場合

取り付けねじ2本を硬貨などで外せ
ば取り外せます。

- 運転中は絶対外さないでください。
- 水洗いしないでください。
サビることがあります。
- 変形、破損させないように注意して行
ってください。
- 取り付けは、ツメを本体の穴に差し
込んでから、取り付けねじでとめて
ください。



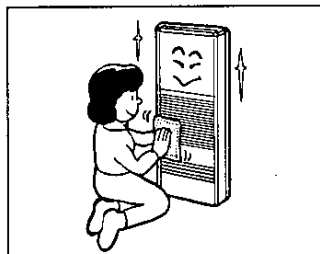
お手入れ②

〈ご注意〉

エアフィルターを外した場合、器具内部には温度の高い部分があります。お手入れは器具が冷えてから行ってください。また使用中には必ずエアフィルターと空気吸い込みグリルを取り付けてください。使用中に器具内部に手を触れると、やけどや感電のおそれがありますので、お子さまなどには十分注意してください。

器具外装のお手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。



〈ご注意〉

金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。

- 温風吹出口にホコリのつまりがひどい場合は、掃除機などで取り除いてください。この場合は、温風ファンが完全に止まってから掃除してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象	原因							処置方法	参照ページ
	点火しない	燃発時に点火しない	運転中に消火して再び点火しない	運転中に消火して再び点火しない	運転中に消火して再び点火しない	運転中に消火して再び点火しない	運転中に消火して再び点火しない		
ガス元せんの開き忘れ	○							運転ボタンを「切」にしてからガス元せんを全開にする	9
ガス元せんの開きが不十分	○	○	○	○		○		運転ボタンを「切」にしてからガス元せんを全開にする	9
ガス配管内に空気が残っている	○	○	○	○				ガスが正常に出るまで点火操作をくり返す	9
ガス圧が適切でない	○	○	○	○		○		他の器具も同様の場合は、点検を依頼する	-
電源プラグを差し込んでいないが、抜けている	○					○		電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む	9
ガス配管の接続不良	○	○	○	○			○	ガス配管接続部の点検を依頼する	3
ガス配管の劣化、不良品							○	点検を依頼する	16
ガス配管のつまり、折れ曲り	○	○	○	○				点検を依頼する	16
バランスストップ周囲に障害物がある	○	○	○	○				障害物を取り除く	16 8
給排気工事が適切でない	○	○	○	○				点検修理を依頼する	16
エアフィルターが目づまり						○	○	エアフィルターの手入れを行う	17
温度調節の設定不良	○						○	正しくセットする	10
安全装置が作動	○				○	○		点検を依頼する	14 15
用途、暖房能力が適切でない							○	点検を依頼する	2
器具前方に障害物を置いている						○	○	障害物を取り除く	4

● 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

- 次のような現象は故障ではありません。
サービスをお申し付けになる前にご確認ください。

現象	説明
初めて運転するときや長時間運転しなかつた後、なかなか点火しない	ガス配管の中に空気が入っているためです。ガスが出るまで点火操作をくり返してください。
初めて運転したとき、煙やにおいが出る	内部の熱交換器などに付着している油が焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
火がつかない(部屋が暖まらない)	温度調節つまみが室温より低くセットされているためです。高の方へセットしてください。
点火してもすぐに温風が出てこない	約30秒ほどして器具内部が暖まると、自動的に温風が出はじめます。(冷風を出さない処置です。)
消火してもすぐに温風ファンが停止しない	1～2分間器具内部を冷やしてから自動的に止まります。
運転中に「カチン」と音がする	温度調節をするための電磁弁(電気で開閉するガス弁)などの作動音です。
室温が常に一定でない	温度調節は、燃焼のON・OFFによって行いますので室温はある程度変動します。
部屋が乾燥する	最適湿度を希望される場合は、市販の加湿器をお求めのうえ使用してください。
タイマー運転をしたが、セットした時刻になっても点火しない	途中で停電があると安全装置が作動して運転しません。運転ボタンを「切」にしてください。
点火後や消火後にキシミ音が出る	熱交換器などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音で、故障ではありません。

長期間使用しない場合

- 長期間保管しておく場合は、以下のような点検、手入れを行って、そのまま設置した状態で保管してください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ガス元せんを確実に閉めてください。
- 「日常の点検・お手入れ」を参照して、器具外表、エアフィルターをきれいに掃除してください。

〈ご注意〉

お客さま自身で移動したり、設置したりしないでください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 19、20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

- (1) 品名……ガスクリーンヒーティング
- (2) 品番……左側面下部に貼付してあります。

(例)

(N)43-756(U)

大阪ガス株式会社 01

- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)
- (5) 電話番号

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。電気の周波数にも50Hz、60Hzがあります。

ガスの種類や周波数が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類や電気の周波数を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。

このガスクリーンヒーティングは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

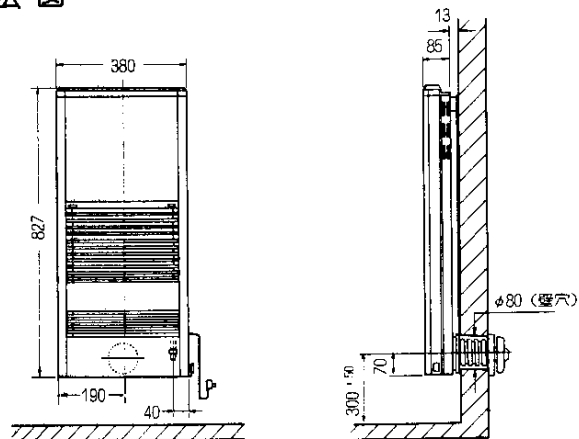
保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱取説書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1 袖壁設置タイプのFF温風暖房機です。
- 2 壁面から9.8cmのうす形、幅38cmのたて形で、省スペースタイプです。
- 3 プッシュ点火で、操作が簡単です。
- 4 自動温度調節器とセーブ運転回路が付いています。
- 5 12時間おはようタイマー付です。
- 6 シンプルでスッキリしたデザインです。

寸法図と仕様一覧表

寸法図



仕様一覧表

項目	種別	43-756型	
ガス消費量	都市ガス6C	都市ガス13A	
	2,600kcal/h	2,600kcal/h	
暖房の目やす	6~9畳(10~15㎡)		
外形寸法(mm)	(高さ)827×(幅)380×(奥行)98 (壁取付板含む)		
重量(kg)	13.5		
接続	ガス	強化ガスホース (器具側：PT3/8オス)	ガスコード (器具側：小口径プラグ)
	電気	AC100V・60Hz(電源コード長さ1.7m)	
電気消費量(W)	58		
燃焼方式	密閉燃焼式		
給排気方式	強制給排気式		
放熱方式	強制対流方式		
点火方式	連続スパーク点火式		
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・消火センサー・電流ヒューズ・ファンコントローラ ・過熱防止(温度ヒューズ、ハイリミットスイッチ2個) ・停電時安全装置 		

おねがい

ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にしてから
(火気に注意して)、大阪ガス社にご連絡ください。